

基本目標 4 都市ブランドの構築				総合計画審議会からの施策目標の実現に向けた講評等	
R9年度末にめざす状態【P】		「暮らす価値のあるまち」という都市ブランドの構築に向けて、生駒への愛着や共感が広がり、市内外の人・モノ・情報等といった資源が地域で活用可能となる循環が生まれている。	進捗度	C	

【進捗度】 A：4年後にめざす状態をすでに実現している、B：4年後にめざす状態の実現に向けて大変順調に進んでいる、C：4年後にめざす状態の実現に向けて概ね順調に進んでいる、D：4年後にめざす状態の実現には努力が必要である、E：4年後にめざす状態の実現には相当努力が必要である

(1)多様な主体がつくる魅力の発信		
得られた成果【C】		
・既存資源を活用した観光施策の推進により、来訪者増加につながるとともに、生駒山ブランド推進協議会への近鉄参画や万博での発信、COOL JAPAN AWARD受賞により認知向上と連携強化が進んだ。また、観光案内所整備や着地型観光商品の展開により、来訪者と地域をつなぐ接点や回遊基盤が構築された。 ・ポータルサイト閲覧数の目標値を達成し、SNS（Facebook・Instagram）のフォローも年間約800人増加しており、生駒の情報に触れる人、興味関心を持つ人を増やしている。	めざす状態の実現に効果のあった取組【D】	
	9-5	「住んで楽しい」身近な観光価値が地域経済に繋がる観光振興
	Ⅲ-5	都市イメージ形成事業
		取組による効果の内容とその根拠【D】
		全国市区町村別インバウンド滞在増加率 全国6位
		ポータルサイト年間閲覧数 160,000PV（目標値100,500PV）
解決すべき課題【C】		
・本市は「自然が豊か」「住宅街が多い」「アクセスが良い」といった機能面での印象で捉えられることが多く、本市ならではの多様な暮らし方や住まい方の魅力を十分に伝えられていない。		今後の取組の方向性【A】
		・市民PRチーム「いこまち宣伝部」やプロモーションサイト「グッドサイクルいこま」を軸に、本市ならではの多様な暮らし方や住まい方など本市の魅力を長期的に創出・発信し続け、「暮らす価値があるまち」としての都市ブランドを浸透させる。

(2)エリアブランディングの推進		
得られた成果【C】		
・地域住民等の意見を踏まえた社会実験を通じて、公共空間整備によるエリア価値向上の実現可能性を確認できた。 ・生駒駅南口参道周辺の景観づくりについて、地域住民や宝山寺との良好な関係を構築し、それぞれの想いをくみ取りながら景観まちづくりを進めることができた。 ・学研高山地区第2工区の円滑な事業推進に必要な関係機関との協議を進めるとともに、地権者の合意形成を推進し、くらしを支える都市基盤の整備に向けた取組を進めた。	めざす状態の実現に効果のあった取組【D】	
	12-4	生駒駅周辺都市再生（まちなかウォーカブル推進）事業
	12-1	生駒駅南口参道周辺の景観づくり
		取組による効果の内容とその根拠【D】
		公共空間再整備に向けた社会実験の実施 2か所
		住民との意見交換に基づく街なみ環境整備事業計画の策定
		地権者の会（総会1回、役員会2回）を開催
解決すべき課題【C】		
・学研高山地区及び学研北生駒駅のまちづくり推進事業を進めるにあたって、地権者との合意形成に時間を要している。		今後の取組の方向性【A】
		・引き続き、勉強会や説明会等を通じて地権者との合意形成及び意識醸成に取り組む。

(3)公共空間等を活用した交流・滞在の場の創出		
得られた成果【C】		
・市民ニーズに沿った図書館整備により、まちづくりの拠点としての機能が向上するとともに、工事に伴う閉館前・閉館中も市民協働イベント等を継続して行い、市民交流が促進された。 ・市民主体の音楽祭や多様なコンサートの開催を通じて、市内で滞在する時間が増えるとともに、市の魅力を認知・体験する機会が創出された。 ・自治会を中心とした市民活動の支援により、市民の身近な拠点に多様なサービスや交流が生まれ、市内の資源が地域で活用可能となる循環を推進することができた。	めざす状態の実現に効果のあった取組【D】	
	1-9	図書館リニューアル事業
	1-11	「音楽のまち生駒」推進事業
		取組による効果の内容とその根拠【D】
		・図書館本館のリニューアル工事の実施 ・図書館等を活用した市民協働イベント 51件
		市民みんなで創る音楽祭9公演、吹奏楽事業3公演、リベラルコンサート、ライオンズコンサートの実施
		まちのえき新規開設数 4自治会、2拠点（市内合計 20自治会、16拠点）
解決すべき課題【C】		
・市民協働による取組を継続的に実施していくためには、担い手が不足している。		今後の取組の方向性【A】
		・「まちのえき」づくりにおいては他主体の参画による自治会負担の軽減に取り組み、「公園利活用促進プロジェクト」においては市民等による公園利活用の様子を多様なSNSやリーフレット等で発信し、新たなプレーヤーの発掘を進めるなど、多様な主体の参画による市民協働の推進に取り組む。

《参考》施策の進捗状況を測る代表的な指標【C】																									
①生駒を薦めたいという気持ち（ポイント）	②生駒をより良くするためにまちに関わりたいという気持ち（ポイント）																								
<table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>ポイント</th></tr></thead><tbody><tr><td>策定時</td><td>-3.9</td></tr><tr><td>R6</td><td>0.7</td></tr><tr><td>R7</td><td>3.6</td></tr><tr><td>R8</td><td>0</td></tr><tr><td>R9</td><td>0</td></tr></tbody></table>	年度	ポイント	策定時	-3.9	R6	0.7	R7	3.6	R8	0	R9	0	<table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>ポイント</th></tr></thead><tbody><tr><td>策定時</td><td>-42.3</td></tr><tr><td>R6</td><td>-37.9</td></tr><tr><td>R7</td><td>-39.3</td></tr><tr><td>R8</td><td>-39.3</td></tr><tr><td>R9</td><td>-39.3</td></tr></tbody></table>	年度	ポイント	策定時	-42.3	R6	-37.9	R7	-39.3	R8	-39.3	R9	-39.3
年度	ポイント																								
策定時	-3.9																								
R6	0.7																								
R7	3.6																								
R8	0																								
R9	0																								
年度	ポイント																								
策定時	-42.3																								
R6	-37.9																								
R7	-39.3																								
R8	-39.3																								
R9	-39.3																								